

令和4年度自転車関連実施事業

通学

○ 実現したい将来の姿

- ・子どもの時から発達段階に応じ、定期的に安全教育を受けることで、安全利用の意識が根付きます。
- ・ルールをしっかりと理解し、安全な通学路を安心して通学できます。
- ・ルールを守り安全に利用することで、周りの歩行者なども安心して暮らせます。
- ・子どもの時から、自転車のことをしっかりと理解しているため、大人になっても正しい自転車利用を続けていくことができます。
- ・自転車が利用できる時には、優先して自転車を利用する習慣を定着させることで、市民にとってもまちにとってもメリットのある暮らし方を実現します。

※表中の●は新規事業内容を対象に表示しています。

令和4年度に実施した事業										事業実施関係団体	
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	整理番号	事業名称	事業内容	実施有無	当該事業における目標	達成状況		
① 通学	安全教育	交通安全教育の継続・充実	行政 学校 警察	1-1	交通安全教室の実施	自転車の交通ルールや危険性などに関する内容を取り入れた安全教室を行う	○	子供の交通事故死者数0人	安全教室を行った。 総計:113回 11,776人(内訳は以下のとおり) ・小学生(中高学年):89回 6,128人 ・中学生:14回 2,887人 ・高校生:10回 2,761人 令和4年の子供の交通事故死者数は0人で、目標を達成した。	豊橋市(安全生活課)	
				1-2	豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進	・豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の更なる周知(特に、自転車損害賠償保険等への加入(令和元年10月1日より義務化)及びヘルメット着用の促進)を図る。 ●自転車安全利用モデル校の豊橋西高校に向け、警察と学校と市が連携し、朝の立哨活動への参加等交通安全啓発活動を実施する。 また、生徒にも交通安全活動に携わってもらう。	○	・自転車損害賠償保険の加入やヘルメット着用の促進を図る。 ・高校生の交通安全意識の高揚を図る。	自転車安全利用モデル校の豊橋西高等学校と一体となって啓発活動を行った。 ・立哨活動 ・校内放送やFMとよはしを活用した広報活動 毎月1回の朝の交通立ち番への参加や、四季の交通安全運動で生徒と校内放送で交通安全を呼び掛ける等、連携した取組を実施することができた。	豊橋市(安全生活課) 愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店	
				1-3	200日間自転車無事故無違反ラリー	自転車の交通安全意識の高揚と交通事故防止を目的とし、豊橋市内の中学校・高校で200日間自転車無事故・無違反ラリーを実施し、達成した学校に表彰を行う。	○	自転車利用時における法令遵守と交通安全意識の高揚を図る。	達成校 中学の部:20校(参加校23校) 高校の部:4校(参加校12校) 自転車利用時における法令遵守と交通安全意識が高揚した。しかし、高校の部では達成が少なかったことから、高校生に対する安全教育強化を図りたい。	豊橋警察署	
				1-4	イベント内での自転車交通安全利用の啓発	車を使わない移動について考えるイベントのカーフリーデー内で自転車シミュレーターを活用した自転車安全利用の啓発を行う。	○	・自転車シミュレーターを活用してイベントを楽しみながら自転車の安全な利用について啓発する。	イベントを楽しんでもらいながら、自転車の安全利用について学ぶ機会を創出できた。 ※(参考)カーフリーデー来場者数約1600人	豊橋市(都市交通課、安全生活課)	
				1-5	通学路一斉点検	・2年に1度の通学路点検の中間年にあたるため、R3の通学路点検で各学校から出してもらった危険度・緊急度の高い所のうち、R3の現地調査で行くことができなかった所を優先的に現地調査し、対策を講じていく。 ・岩田小、谷川小、高師台中の通学路に協議会メンバーで現地調査を実施する。	○	・児童・生徒の安全確保に向け、R3の通学路点検で出た要望に対して、対策が「厳しい」「難しい」という回答の箇所について、通学路安全対策連絡協議会のメンバーで見直し、対策を練る。	・高師台中の通学路・・・「角に塀があり見通しが悪いので信号機の設置」を要望。→土地所有のJAに連絡したところ、塀の内側の木を伐採していただいた。生徒が自転車を日常利用する道路でもあり安全確保に寄与した。	豊橋市(学校教育課、安全生活課、道路維持課)	
	意識啓発	自転車に乗り続けることのメリットの周知・啓発	行政	1-6	-	-	-	-	-	-	-
				1-7	自転車放置対策推進事業	・放置自転車を防止するための指導・啓発活動・無料駐輪場の整理等維持管理・市営駐輪場の利用促進策の検討・実施 ・放置自転車所有者への指導及び当該自転車の撤去・無料駐輪場の自転車整理、学生に向けた市営駐輪場定期利用の案内	○	・市内の学生に放置自転車防止にむけた広報物を配るなどしてマナーの向上を図る。	令和4年度は試験的に学内掲示板に定期利用案内ポスターを掲示するなどの取組を実施、放置自転車防止意識が向上した。 乱雑に駐輪された自転車を整理したことで、駐輪スペースを確保できた。	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(篤井株式会社) 委託業者(公益社団法人豊橋市シルバー人材センター)、委託業者(篤井株式会社)	
	支援・補助	自転車通学者のヘルメット着用に関する支援	行政 学校	1-8	豊橋市ヘルメット購入補助金	・ヘルメット利用啓発チラシ作成・配布する。 ・市内在住者に対し、ヘルメット購入費の一部を補助することで自転車ヘルメット着用を促す。	○	・自転車を利用するときのヘルメットの着用率を上げる	(参考)令和3年度補助金利用件数 2866件 令和4年度補助金利用件数 2615件(内訳は以下のとおり) ・未就学児 350件 ・小学生 877件 ・中学生 354件 ・高校生 41件 ・その他 993件 自転車を利用している人のうちヘルメットを着用していると回答したのは、令和3年度は10.5% 令和4年度は13.3% 増加していたため、達成。(市民意識調査より)	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店 市内の制服取扱店	
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供	行政 警察 企業 学校	1-9	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	○	・視覚的に訴えることにより、事故のリスクを低減させる。	平成27年度より、継続してステッカーを貼っている。	豊鉄バス	
				1-10	●自転車利用促進リーフレット作成【資料1-1】	自転車通行の原則や注意事項、自転車通行空間やサイクルトレインなどを掲載したリーフレットを市内の高校1年生へ配布する。	○	・安全で快適な自転車利用についての意識の醸成を図る。	市内の新高校1年生(約3500名)へリーフレットを配布し、自転車通行の原則や注意事項、自転車の環境整備について周知できた。 あわせて自転車安全利用モデル校の西高校に訪問し周知のための講座を行った。	豊橋市(都市交通課)	
		新しい生活様式での自転車の活用情報の提供	行政	1-11	-	-	-	-	-	-	-

通勤

○ 実現したい将来の姿

- ・ 企業自身が自転車通勤のメリットを理解し、積極的に従業員に対する利用啓発を展開します。
- ・ 毎日の通勤がリフレッシュや運動の時間になり、心も体も健康で明るく通勤しています。
- ・ 朝夕通勤時間帯の道路混雑が改善し、さらに自転車も車道を走りやすくなります。
- ・ 多くの企業が「健康経営」を実現し、働く場としての”とよはし”の魅力が高まります。
- ・ 働く世代の生活習慣病などの有病率が低下し、市の医療費負担も軽減されます。

※表中の●は新規事業内容を対象に表示しています。

令和4年度に実施した事業										
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	整理番号	事業名称	事業内容	実施有無	当該事業における目標	達成状況	事業実施関係団体
② 通勤	安全教育	企業を通じた交通安全教室の実施・充実	行政企業	2-1	-	-	-	-	-	-
	意識啓発	企業での自転車活用促進に関する啓発	行政企業	2-2	地域・職域連携推進事業(とよはし健康マガジンの発行)	健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」に対し、市の施策や事業等に関する情報提供を行う電子マガジン「とよはし健康マガジン」にて、自転車利用促進に関する記事を掲載する。 ※「とよはし健康マガジン」とは、庁内から、企業にPRしたい健康づくりに関する記事を掲載した電子マガジン。	○	・とよはし健康マガジンを作成し、市内企業へ配布することにより、市内事業所における自転車利用促進及びエコ通勤の普及啓発を行う。	・とよはし健康マガジンを6月号、9月号、12月号、3月号の全4回配信した。その中の記事に自転車利用に関する記事を掲載した。 ・とよはし健康宣言事業所約160社に配信し、企業の労働安全衛生担当者を通じて従業員へ周知した。 ・マガジンは、3か月に1度、その時期にあった旬な情報を定期的に配信しており、市内事業所において自転車利用促進及びエコ通勤の普及啓発を行うことができた。	豊橋市(健康政策課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
				2-3	健康経営推進事業(とよはし健康宣言事業所認定制度)	・健康経営を実践する市内事業所「とよはし健康宣言事業所」及び健康経営の取組を検討している企業に対し、とよはし健康宣言事業所に係る印刷物やホームページ等を用いて、健康経営の取組内容としてエコ通勤(徒歩、自転車や公共交通機関を利用した通勤)を推奨する。 ・商工会議所や協会けんぽ愛知支部等、健康経営推進に関する連携機関を通じて、とよはし健康宣言事業所認定パンフレットを配布し、支援メニュー「エコ通勤の推進」を広く市内企業へ周知する。	○	健康経営の支援メニューの一つとして「エコ通勤の推進」を設置し、市内事業所に周知することにより、事業所従業員が、環境負荷や健康を意識し、公共交通・徒歩・自転車での通勤(エコ通勤)を推進する。	健康経営(従業員の健康)という新しい観点から、自転車利用の啓発を実施することができた。また、職場からの自転車利用を促すことで、これまで自転車利用をしてこなかった個人(従業員)に対し、きっかけの提供や動機付けを行うことができた。 (とよはし健康宣言事業所) R2年:125社 R3:145社 R4:160社	豊橋市(健康政策課) 豊橋商工会議所 全国健康保険協会愛知支部
				2-4	環境マネジメントシステム推進事業	・豊橋市エコアクションプラン(第6次)の推進にあたり、とよはしエコマネジメントシステム(T-EMS)を活用しており、エコ通勤の実施日数を令和元年度比で3%増加するという目標を掲げている。今後も研修などを通じて、エコ通勤の普及に努める。 ・年度当初、全課(室)に令和4年度の目標を定め、毎月の記録および四半期の報告を以てエコ通勤の進捗を管理するとともに、各職員に意識してもらうことでエコ通勤の普及に努める。	○	T-EMSの令和4年度年間実績報告において、エコ通勤の実施日数が令和元年度比で3%増加すること。	R4年度目標:239,622 R4年度実績:251,450 目標達成率:104% 令和4年度で目標を達成することができたため、令和7年度に令和元年度比で6%以上増加することを目標に、今後も取り組みを継続する。	豊橋市(ゼロカーボンシティ推進課)豊橋市役所の職員、会計年度任用職員、再任用職員
				2-5	自転車損害賠償保険を包括する保険の団体扱いの開始	・令和元年10月1日から加入が義務となっている自転車利用者の自転車損害賠償保険等について、それを包括している保険の新規加入・内容変更の募集案内を職員へ行い、保険料については給与から控除する団体扱いを行う。 ・職員への案内、保険の団体扱いを実施。	○	事業の継続的な実施。	職員に自転車損害賠償保険の加入を促進できた。	豊橋市(人事課)
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の推進	行政企業	2-6	通勤手当の加算	通勤距離区分が2km以上15km未満で自転車通勤の場合に、通勤手当の加算を行う。【平成27年度から、通勤距離区分の拡大及び手当額の引き上げを実施している】	○	「通勤手当の加算」の継続により、一定の自転車通勤者数を維持	平成27年度から引き続き、通勤手当の増額を行っている。 2km以上5km未満 5,500円(自転車以外:2,000円) 5km以上8km未満 9,200円(自転車以外:4,100円) 8km以上15km未満 11,700円(自転車以外:7,100円) 令和3年度に引き続き、自転車通勤者数800人以上を維持できている。	豊橋市(人事課)
				2-7	自転車通勤切替による健康効果の検証	自転車通勤による健康効果を確認するため、山口大学と連携して、豊橋市役所職員の通勤手段と健康データの分析を行う。	○	健康効果での啓発により、自転車利用を促す。	分析結果の整理を行っており、今後、活用しながら啓発を行いたい。	豊橋市(都市交通課) 豊橋市(健康政策課) 山口大学
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	行政企業	2-8	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)(再掲)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	○	・視覚的に訴えることにより、事故のリスクを低減させる。	平成27年度より、継続してステッカーを貼っている。	豊鉄バス
				2-9	コロナ禍における自転車通勤の推進	県境地域通勤環境推進協議会の参画事業所を対象に自転車通勤に関するニュースレターを送付し社員への配布及び社内掲示してもらうことで、自転車通勤を促す。	○	ニュースレターを発行して自転車通勤者の増加を目指す。	人との接触の低減となる自転車活用に寄与した。県境地域の事業所8社に配布し自転車通勤を促した。	豊橋市(都市交通課) 県境地域の事業所

買物

○ 実現したい将来の姿

- ・子育て世代でも、高齢者でも、安心して自転車で買物に行けるようになります。
- ・店舗側も積極的に自転車を受け入れるようになり、気軽に使いやすくなります。
- ・気軽に自転車でも買物に出かけるようになり、店舗側にも顧客増加のメリットが生まれます。
- ・中心市街地にも、自転車で集まる人が増えて、まちなかのにぎわいがさらに高まります。
- ・電動アシスト付き自転車がさらに普及することで、重い荷物があるときでも、少し離れたお店に行きたいときでも自転車が利用でき、暮らしやすさが高まります。

※表中の●は新規事業内容を対象に表示しています。

令和4年度に実施した事業										
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	整理番号	事業名称	事業内容	実施有無	当該事業における目標	達成状況	事業実施関係団体
③ 買物	安全教育	店舗を通じた顧客対象の安全啓発	行政企業	3-1	-	-	-	-	-	-
		交通安全教育などの継続・充実(再掲)	行政警察	3-2	交通安全教室の実施(再掲)	自転車の交通ルールや危険性などに関する内容を取り入れた安全教室を行う	○	交通事故死者数 8人以下	令和4年の交通事故死者数は、4人のため達成 令和4年度に実施した「自転車」を内容で取り扱った交通安全教室 対象：高齢者 回数：7回	豊橋市(安全生活課)
				3-3	イベント内での自転車交通安全利用の啓発(再掲)	車を使わない移動について考えるイベントのカーフリーデー内で自転車シミュレーターを活用した自転車安全利用の啓発を行う。	○	自転車シミュレーターを活用してイベントを楽しみながら自転車の安全な利用について啓発する。	イベントを楽しんでもらいながら、自転車の安全利用について学ぶ機会を創出できた。 令和4年度カーフリーデーの来場者数：約1600人	豊橋市(都市交通課、安全生活課)
		貸付・補助事業と連携し安全啓発の実施	行政	3-4	自転車安全利用の教育	三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出決定者に対し、安全生活課が配布しているヘルメット購入補助金のチラシを配布する。購入補助は実施しない。	○	自転車を利用するうえで、ヘルメットを着用する重要性を伝える。	ヘルメットを着用する重要性を伝えることができた。	豊橋市(保育課)
	意識啓発	買物交通を健康づくりの機会に活かす自転車活用の周知(再掲)	行政企業	3-5	自転車活用による健康効果の検証(再掲)	自転車活用による健康効果を確認するため、山口大学と連携して、健康データの分析を行う。	○	健康効果での啓発により、自転車利用を促す。	分析結果の整理を行っており、今後、活用しながら啓発を行いたい。	豊橋市(都市交通課) 豊橋市(健康政策課) 山口大学
	支援・補助	貸付・補助による自転車活用の実施(再掲)	行政	3-6	三人乗り自転車貸出	就学前の満1歳以上4歳未満及び満2歳以上の幼児を2人以上養育し、豊橋市内に居住している家庭を対象に、三人乗り自転車(電動アシスト)の貸出を行う。 ※令和4年度より新規貸出受付を終了し、令和3年度より継続して利用を希望する対象者に限り貸出を実施する。	○	子育て家庭の支援の一環として、自転車活用の推進および移動に係る保護者の負担軽減を行う。	子育て家庭の日常生活における親子での移動手段として自転車の活用を促すことができた。	豊橋市(保育課) 豊橋市(安全生活課)
				3-7	高齢者運転免許自主返納 電動アシスト自転車購入補助	1年以内に運転免許証を自主返納した70歳以上の方に対して電動アシスト自転車の購入代金を補助することで、利用を促進する。	○	免許証を自主返納した高齢者に対して補助を行うことで、電動アシスト自転車の利用と自主返納を促す。	電動アシスト自転車の利用を促進した。 令和3年度補助金利用件数 92件 令和4年度補助金利用件数 87件	豊橋市(安全生活課) 市内の自転車販売店
	情報提供	安全・快適な移動経路などの情報収集・提供(再掲)	行政企業	3-8	自転車安全・快適利用啓発事業(ステッカー貼付)(再掲)	バス車両後方左側に「自転車は左側通行」のステッカーを貼ることによって、自転車利用者に交通ルールとマナーを訴える。	○	・視覚的に訴えることにより、事故のリスクを低減させる。	平成27年度より、継続してステッカーを貼っている。	豊鉄バス
				3-9	サイクルトレイン等PR	サイクルトレインやサイクルピット等をチラシ等に掲載し、PRを図る。	○	・サイクルトレインなどの自転車環境の周知により、自転車利用者を増やす。	高校生向けリーフレットやよはし健康マガジンにサイクルトレインやサイクルピット等の情報を掲載した。 健康マガジンについて令和4年度は6、9、12、3月の年4回発行。	豊橋市(都市交通課) 豊橋鉄道

○ 実現したい将来の姿

- ・ 自転車であちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
- ・ 本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
- ・ 太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
- ・ 自転車であちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

※表中の●は新規事業内容を対象に表示しています。

令和4年度に実施した事業										
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	整理番号	事業名称	事業内容	実施の有無	当該事業における目標	達成状況	事業実施関係団体
④レクリエーション・観光	安全教育	自転車イベントに合わせた安全教育の実施	行政 民間団体	4-1	自然溢れるサイクリングロードでサイクリング体験	小学4年生から中学生を対象としたサイクリング体験。施設に隣接する豊橋田原自転車道を活用し、自然環境の中で、健やかな成長を育む機会及びチームワーク、目標を達成することにより達成感を味わることができるチャレンジ体験を提供。 自転車運転の基本技術・ヘルメット着用など安全面の教育。サイクリングロードでのグループライド、保護者向けのe-bike体験。	○	地域の自然環境・サイクリングロードを活用した自転車利用の推進。	子供たちが自転車に乗る楽しみ・きっかけを提供でき、参加者アンケートの満足度は高かった。利用拡大に向け、今後は参加対象者を高学年に限定せず、低学年も参加できるように企画内容を調整していく。	豊橋市(生涯学習課少年自然の家)カントリーモーニング
	意識啓発	自転車を楽しむ機会の充実		4-2	●デジタルサイクリングマップを利用したサイクリングイベント【資料1-2】	・サイクリングをより快適に楽しむために「はしってみ輪とよはし」サイクリングマップをデジタル化する。 ・デジタルサイクリングマップを活用したサイクリングイベントを開催。	○	豊橋市内のおすすめコースを周遊してもらう機会の提供および自転車の観光利用の促進。	デジタルサイクリングマップを活用したサイクリングイベントを実施した。自転車の日常点検方法や安全な走行に関する講習もおこない、市内の名所を安全・快適に周遊する機会を提供できた。参加者は2日間で計33名	豊橋市(都市交通課)カントリーモーニング
				4-3	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバルを開催【資料1-3】	サイクルフェスティバルとして道の駅とよはしを発着点とし、秋は浜名湖方面、春は渥美半島方面でコースを設定、それぞれ3日間で計画する。	○	1回あたり72名を目標とし、2回で144名を目標とする。	DMやSNSを活用し、積極的に情報発信を行い、のんほいパークや石巻地区での次郎柿の試食、渥美線のサイクリングトレインへの乗車、豊川稲荷、太平洋ロングビーチなど豊橋及び東三河の魅力を活かして楽しんでいただけるようなコース造成を行った。 1回目(秋)47名、2回目(春)64名となり、目標には至らなかった。今回、コロナによる出控えの影響があったと考えられる。	ええじゃないか豊橋サイクルフェスティバル実行委員会 事務局:(一社)豊橋観光コンベンション協会、豊橋市、豊橋商工会議所、豊橋市スポーツ協会、豊橋総合動植物公園、豊橋みどりの協会、日本トータ、ヤマサちくわ、ユタカ産業、豊橋鉄道、豊橋信用金庫
				4-4	市民スポーツ祭2022【自転車】を開催	大会の実施 ・市民を対象に競輪場のトラックでのタイムトライアル(400m、1km)を行う。 ・小学生の部から60歳以上のシルバーの部まで7つの部門で競い合う。	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	普段走ることのない競輪場のトラックでの競技を経験して自転車競技の楽しさに触れてもらった。令和4年度豊橋自転車競技大会と同日開催(R4.7.31開催) アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資することができた。 競技の実施種目、大会運営方法等については参加者等の意見を踏まえ修正を要する点は今後修正していく。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				4-5	第39回とよはし・チーム・ピストを開催	大会の実施 ・ピスト競技を愛する全国のレーシングチームを対象にトラック競技を行いチームでの総合得点を競い合う。	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	トラックレーサーの部のタイムトライアル、チームパーシユート、チームスプリント、ケイリン、スクラッチ、エリミネーションと、ロードレーサーの部のタイムトライアルなどがあり、アマチュアのトラック競技の大会が少なく遠方からの参加者も多かった。(R4.11.6開催) 競技の実施種目、大会運営方法等については参加者等の意見を踏まえ修正を要する点は今後修正していく。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市体育協会、愛知県自転車競技連盟、(社)日本競輪選手会愛知支部
				4-6	第19回豊橋万場クリテリウムロードレース大会を開催	大会の実施 ・愛知国体自転車競技大会の10周年を記念し第1回が企画され19回目を迎え、場調整池の管理用通路を周回コースとしてロードレースを開催。	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	種目は4時間エンデューロと個人ロードレース、チームタイムトライアルがありそれぞれに部門が分かれ、未就学児から実業団選手まで幅広い年代が自転車競技を楽しむ大会となった。(R4.9.25開催) 競技の実施種目、大会運営方法等については参加者等の意見を踏まえ修正を要する点は今後修正していく。	豊橋自転車競技協会、豊橋市、豊橋市教育委員会、(公財)豊橋市スポーツ協会、独立行政法人水資源機構
				4-7	とよはしサイクルマラソンを開催	大会の実施 ・レースではなく、交通ルールを守った自分のペースで安全に走る大会	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	豊橋競輪場をスタートし東栄町を往復する約120kmのコース。途中、四谷の千枚田や廃校になった神田小学校に立ち寄り、紅葉も楽しめる大会となった。東栄町の協力による昼食も提供。(R4.10.1開催)	豊橋自転車競技協会、東栄町、新城市、(公財)豊橋市スポーツ協会
				4-8	令和4年度豊橋自転車競技大会の開催	大会の実施 昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図る。	○	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	1kmタイムトライアル、エリミネーション、2km速度競走、スクラッチ、ケイリンの種目があり、競技種目により豊橋市長賞、市議会議長賞、体育協会理事長賞が贈られた。市民スポーツ祭2022【自転車】と同日開催。(R4.7.31開催)	豊橋自転車競技協会、豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				4-9	令和3年度豊橋自転車競技大会春季記録会	大会の実施 昭和31年から毎年開催しており、アマチュアの自転車愛好者にピスト競技の楽しさ、面白さなどを体験していただくとともに自転車競技の啓蒙普及を図る。	×	アマチュア自転車競技の普及振興・技量の向上に資する。	コロナ禍で中止になる大会が多い中で、コロナの状況が収まっている時期をみて万全の対策のもと、アマチュア競技者のために自己の実力を試す機会としてタイムトライアル中心の記録会を臨時的に実施した。(令和2年度、3年度) 当協会の他の事業が予定通り実施できたため、令和4年度は実施しなかった。	豊橋市、(公財)豊橋市スポーツ協会、愛知県自転車競技連盟、(公財)JKA、(社)日本競輪選手会愛知支部
				4-10	カーフリーデーの開催	車を使わない移動手段について考える「カーフリーデー」というイベント内で自転車の利用促進のため自転車に関するブースを企画する。	○	レクリエーション・日常利用に係る自転車の活用推進を図る。	下記、自転車関連企画を実施した。 ・自転車シミュレーターを使用した交通安全教室 ・マウンテンバイク・BMXフリースタイルショー ※(参考)カーフリーデー来場者数約1600人	豊橋市(都市交通課、安全生活課)、日本マウンテンバイク協会中部支部

レクリエーション
観光

- 実現したい将来の姿
 - ・自転車であちをめぐる市民が増えて、まちへの愛着の醸成や健康づくりにつながります。
 - ・本市の交通結節機能を活かすことで、太平洋岸自転車道でつながる渥美半島から浜名湖にかけての広域的な自転車観光の拠点となることが期待されます。
 - ・太平洋岸自転車道を楽しむ人が、市内の観光スポットに立ち寄るようになります。
 - ・自転車であちを楽しむ姿が伝わり、次第に「自転車×とよはし」の魅力が高まります。

災害

- 実現したい将来の姿
 - ・災害時の備えとして自転車を整備し、利用することで、日常での活用推進にもつながります。
 - ・備えを行うことで災害に対する意識が高まります。
 - ・災害時においても自転車での避難が可能となります。
 - ・発災後、自転車を活用することで、移動手段を増やすことができます。

※表中の●は新規事業内容を対象に表示しています。

令和4年度に実施した事業										
活用場面	事業の区分	施策	関係団体	整理番号	事業名称	事業内容	実施有無	当該事業における目標	達成状況	事業実施関係団体
④レクリエーション・観光	意識啓発	サイクリスト受入環境の向上	行政企業	4-11	サイクルツーリズムの推進	・レンタサイクルの運営(専属スタッフの配置)、サイクリング関係消耗品の販売や、他地域のサイクリングに関する情報収集及び発信や観光案内。サイクリストの誘客及び消費喚起を図るためのイベントを開催予定。 ・道の駅とよはし地域振興施設内サイクリング関連消耗品の販売実施 ・サイクリングに関する情報発信を実施	○	専属スタッフを配置し、適切なレンタサイクルの運営及びサイクリング関係消耗品の販売を実施する。 また、併せてサイクルルートや観光名所等の案内ができるよう努める。	概ね良好。今後も適切な運営を行っていく。 ・道の駅とよはし地域振興施設でのE-BIKEのレンタサイクル 令和4年度実績 161件	豊橋市(観光プロモーション課)、株式会社道の駅とよはし、豊橋観光コンベンション協会、市内自転車関係事業者
				4-12	●サイクルピット維持管理	サイクルピットの設置 ・市内の公共施設やコンビニなど、自転車の簡易なメンテナンス等を行える場所として23箇所のサイクルピットを設置しており各施設や店舗で運用している。 ・木製のサイクルラックの塗装など、メンテナンスを行う。	○	安心・安全に利用できる状態を保つ	市内のサイクルピットの設備等の確認を行い、木製のサイクルラックを10基塗装した。	豊橋市(健康増進課、都市交通課、健康政策課、「スポーツのまち」づくり課、「文化のまち」づくり課、生涯学習課、美術博物館)、(株)エコーとよはし(施設管理者)、(株)道の駅とよはし
				4-13	工具ステーションの設置	サイクリストの利便性を高めるため、24時間自転車の簡単なメンテナンスができる工具ステーションをサイクリング発着地となる市内主要3か所(道の駅とよはし東側駐車場、豊橋駅南口駅前広場、りすば豊橋駐輪場)に設置した。	○	自転車の利用促進につなげる	既存のサイクルピット、組み立てステーションとの併設により、より快適な受入環境が整備された。	豊橋市(観光プロモーション課、健康増進課)、(株)エコーとよはし(施設管理者)、(株)道の駅とよはし
	情報提供	サイクリング・ポタリングコースの情報提供 レクリエーション・観光情報の情報発信	行政民間団体	4-14	サイクリングマップの増刷 ●デジタルサイクリングマップの導入【資料1-2】	・R1に作成したサイクリングマップを増刷した。(3,000部) ・デジタルサイクリングマップを作成し、豊橋市内のおすすめコースを市HPに掲載する。	○	サイクリングの際に分かりやすく扱いやすいマップを提供し、自転車の利用促進につなげる。	サイクリングマップを3,000部増刷し観光案内所等へ配布し情報提供できた。 ・googleマップを使用しデジタル化、サイクリングアプリやサイクルコンピュータで活用可能なgpxデータを市HPで公開した。	豊橋市(都市交通課)
				4-15	●自転車利用促進リーフレット作成(再掲)	自転車通行の原則や注意事項、自転車通行空間やサイクルトレインなどを掲載したリーフレットを市内の高校1年生へ配布する。	○	・安全で快適な自転車利用についての意識の醸成を図る。	市内の新高校1年生(約3500名)へリーフレットを配布し、自転車通行の原則や注意事項、自転車の環境整備について周知できた。サイクルトレインについての記述も掲載し、余暇利用での活用を周知した。	豊橋市(都市交通課)
				5-1	防災講座等による災害時の自転車活用に関する啓発	自転車活用推進計画と連携し、災害時の備えとして、自転車をいつでも利用できるように定期的に整備することや、災害時の自転車活用の必要性を啓発した。	○	災害時での自転車の利用意識を啓発	災害時の適切な移動手段はその時の被災状況や住環境によって異なることから、非常時の移動手段の一つとして各自で考えるよう啓発した。 令和4年度 防災講座 実績326回 参加者54,197人 ※防災講習会・防災訓練等を含む	豊橋市(防災危機管理課、都市交通課)
⑤災害	意識啓発	災害時を想定した日常での自転車活用の推進	行政	5-2	●デジタルサイクリングイベント時の災害時の自転車利用啓発【資料1-2】	デジタルサイクリングイベント時に災害時の活用の場面などの説明を行う。	○	災害時での自転車の活用方法を周知し、状況に応じて自転車活用につなげる。	自転車店員による日常的な自転車のメンテナンス講座と市から災害時の自転車の活用について説明を行い、災害時でも自転車が活用できることを伝えた。	豊橋市(防災危機管理課、都市交通課)
				5-3	-	-	-	-	-	-
	支援・補助	災害時などの自転車の整備点検	行政企業	5-4	-	-	-	-	-	-
	情報提供	防災啓発資料への自転車活用情報の提供	行政	5-4	-	-	-	-	-	-
	⑥その他		行政民間団体	6-1	「環境フェスタ」などでの自転車の提供	「530環境フェスタ」にて「リユース」をPRするため、大きなごみとして排出された自転車を、職員による整備の上、抽選で無償提供を行う 令和4年11月12日にのんほいパークで開催された「530環境フェスタ」で自転車32台を抽選で無償提供を実施。	○	自転車を無償提供し、自転車利用を促進する。	展示した32台の自転車を全て抽選し、無償提供することができた。	豊橋市(収集業務課)530運動環境協議会
6-2				豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の推進(再掲)	・豊橋市自転車の快適で安全な利用の推進に関する条例の更なる周知(特に、自転車損害賠償保険等の加入(令和元年10月1日より義務化)及びヘルメット着用の促進)を図る。 ●自転車安全利用モデル校の豊橋西高校に向け、警察と学校と市が連携し、朝の立哨活動への参加等交通安全啓発活動を実施する。 また、生徒にも交通安全活動に携わってもらう。	○	・自転車損害賠償保険の加入やヘルメット着用の促進を図る。 ・高校生の交通安全意識の高揚を図る。	自転車安全利用モデル校の豊橋西高等学校と一体となって啓発活動を行った。 ・立哨活動 ・校内放送やFMとよはしを活用した広報活動 毎月1回の朝の交通立ち番への参加や、四季の交通安全運動で生徒と校内放送で交通安全を呼び掛ける等、連携した取組を実施することができた。	豊橋市(安全生活課)愛知県、市内高等学校、豊橋警察署、損害保険会社、保険代理店	

通行空間

- 実現したい将来の姿
 - ・市内の中学校、高等学校、大学、企業、店舗などに安全・快適に移動できるようになり、自転車事故の減少や過度な自家用車からの転換が期待できます。
 - ・鉄道駅などに安全・快適に移動できるようになり、自家用車での送迎などが減少します。
 - ・レクリエーションや観光、健康づくりなど、余暇で自転車を利用しやすく、楽しみやすくなります。

駐輪環境

- 実現したい将来の姿
 - ・サイクルアンドライドがしやすくなり、鉄道駅にアクセスする際の移動手段として、自家用車利用から自転車への交通手段の転換が期待されます。
 - ・まちなか駐輪環境が向上することにより、中心市街地に自転車で訪れやすくなり、まちなかのにぎわい向上が期待されます。

※表中の●は新規事業内容を対象に表示しています。

令和4年度に実施した事業									事業実施関係団体
事業の区分	施策	関係団体	整理番号	事業名称	事業内容	実施有無	当該事業における目標	達成状況	
自転車活用を支える基盤づくり	【通行空間】の整備	行政	7-1	自転車通行空間の整備 (豊橋市(道路建設課))	・整備計画による自転車ネットワークの整備を実施。	○	通勤、通学及び日常利用のみならず余暇利用等を推進するため、安全・快適な自転車ネットワークの整備を行う。 整備延長:L=1.6km	整備計画により、市道 上伝馬町・西小田原町1号線ほか約1.6kmの自転車ネットワークの整備を行った。 令和4年度に実施予定の箇所については、自転車ネットワークの整備を実施できた。今後も計画に基づき自転車ネットワークの整備を実施していく。	豊橋市(道路建設課)
			7-2	自転車通行空間の整備 (愛知県)	・整備計画による自転車ネットワークの整備を実施。	○	通勤、通学及び日常利用のみならず余暇利用等を推進するため、安全・快適な自転車ネットワークの整備を行う。	(主)豊橋湖西線 自転車通行帯をL=709m整備した (一)田原豊橋自転車道線 自転車道をL=119m整備した (主)豊橋渥美線 自転車通行帯をL=688m整備した	愛知県(東三河建設事務所 道路整備課)
		行政	7-3	自転車通学時の安全確保に向けた個別対策の実施	自転車通学生が多い中学校の通学路において通学状況の把握を行う。	○	通学状況に対し、ネットワーク以外での通行空間の必要性を検討する。	東部中、石巻中において自転車通学に危険な状況はみられなかった。	豊橋市(都市交通課、学校教育課、道路維持課)
	【駐輪環境】の整備	行政企業	7-4	●サイクル&ライド駐輪場の整備 【資料1-4】	渥美線南栄駅駐輪場整備事業(駐輪場北側の再整備)	○	渥美線南栄駅北側部駐輪場を再整備し、利便性の向上、サイクル&ライドの利用促進が図られること。	渥美線南栄駅北側部駐輪場(約30台分)の舗装・フェンス設置等をおこなった。渥美線利用者へ周知していく。	豊橋鉄道 豊橋市(都市交通課)
		行政	7-5	自転車等駐車場管理運営事業	指定管理者制度による豊橋市自転車等駐車場(豊橋駅東口、豊橋駅西口、二川駅南口)の管理・運営を継続するとともに、長寿命化計画に基づく施設修繕を行う。	○	駐輪場の施設修繕を行い、長寿命化を図る。	・豊橋駅東口自転車等駐車場南ゾーンイレ修繕 ・豊橋駅東口自転車等駐車場電気設備修繕 ・豊橋駅西口自転車等駐車場電気設備修繕 ・豊橋駅東口自転車等駐車場北ゾーン天井剥落防止工事 ・オートスロープ修繕	豊橋市(土木管理課) 指定管理者(萬井株式会社)